



14号

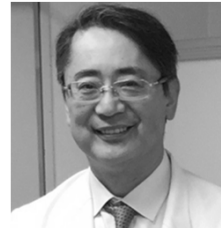
新潟県臓器移植推進財団だより

平成29年10月発行 公益財団法人新潟県臓器移植推進財団
ホームページ <http://www.Niigata-ot.net>

新潟市中央区新光町4番地1(新潟県福祉保健部健康対策課内) TEL:025-283-4880

理事長就任挨拶

公益財団法人新潟県臓器移植推進財団
理事長 成田一衛



新潟県臓器移植推進財団の理事長を仰せつかりました、新潟大学腎研究センター、腎・膠原病内科学の成田一衛でございます。私は腎臓内科の医師として腎臓病・腎不全患者の診療を行い、また大学の教員として教育と研究を行っております。前理事長高橋公太先生は移植手術を自ら行う立場でしたが、私は腎移植の医療チームの一員として、腎不全患者の主治医として移植医療に参加してまいりました。近年、優れた免疫抑制薬の登場や手術手技の向上、透析導入前の移植(Preemptive kidney transplantation)実施などにより、腎移植の治療成績は、生着率・生存率とも目覚ましい進歩を遂げました。血液透析や腹膜透析もそれなりに改善はしていますが、腎不全状態や透析療法による合併症は未解決の問題も多く、腎不全の治療選択において、腎移植が第一選択であることは論を待ちません。心臓、肺、肝臓、角膜などの臓器についても同様です。ES細胞、iPS細胞などを利用した再生医療の進歩は学術的には大変素晴らしいものですが、ごく特殊な病態への研究レベルの実施例を除いて、本当の意味で臨床に応用されるにはまだまだ高いハードルがあり、時間がかかるものと思われまます。

人口の高齢化にともなう臓器不全の増加、ドナーの減少など多くの課題はありますが、臓器移植を推進することは、臓器不全に苦しむ患者やその家族にとっての光明に繋がるものと思います。そして臓器移植を推進するには、医療従事者だけでなく、啓発活動や体制の整備なども必要であり、まさに産官学の連携が必要です。理事長に就任するにあたり、新潟県における臓器移植を一段と推進するため、関係の皆様とのさらなる御支援と御協力をお願いして、挨拶に代えさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

～寄付型自動販売機の設置にご協力ください～



この自動販売機の売り上げの一部が新潟県臓器移植推進財団に寄付されます。

- ◆いただいた寄付金は、臓器移植の普及活動のために大切に活用されます
- ◆飲料一本あたりの寄付金は任意の設定にできます。
- ◆寄付金控除の対象になります。

移植医療へのご理解と、普及活動にご協力をお願いします。



寄付型自動販売機の設置について
特定非営利活動法人 寄付型自動販売機普及協会
フリーダイヤル 0120-937-650